

2012年3月期 第3四半期累計 連結決算ハイライト

■売上高・営業利益・経常利益は、前年同期比増収増益			
売上高	7,425 億円	8.4%	増収
営業利益	162 億円	32.2%	増益
経常利益	134 億円	31.3%	増益
当期純利益	62 億円	6.9%	減益

損益の状況						
(単位:億円)	2011/3期 第3四半期 累計実績		2012/3期 第3四半期 累計実績		前年同期比	
	2011/3期 第3四半期 累計実績	2012/3期 第3四半期 累計実績	増減額	増減率	11/4公表 修正見直し	進捗率
売上高	6,851	7,425	573	8.4%	9,800	75.8%
売上総利益	556	600	45	8.0%	-	-
販売費・一般管理費	433	438	5	1.2%	-	-
営業利益	122	162	39	32.2%	200	80.9%
受取配当金	11	6	△ 5	-	-	-
利息収支	△ 27	△ 28	△ 0	-	-	-
持分法損益	△ 1	2	2	-	-	-
為替差損	△ 2	△ 4	△ 2	-	-	-
その他	△ 2	△ 4	△ 2	-	-	-
営業外収支	△ 21	△ 28	△ 8	-	-	-
経常利益	102	134	32	31.3%	155	86.3%
特別利益	7	1	△ 6	-	-	-
特別損失	△ 15	△ 11	4	-	-	-
税引前当期純利益	94	124	30	32.0%	-	-
法人税等及び少数株主利益	△ 27	△ 62	△ 35	-	-	-
当期純利益	66	62	△ 5	-6.9%	70	88.3%

【売上高・売上総利益】
取扱量の増加、商品価格の高騰により、食品・食糧、環境・素材セグメントを中心に売上高が増加。これに伴い売上総利益も増益。

【営業利益】
売上総利益の増加に加え、販売費及び一般管理費増加抑制に引き続き努めた結果、増益。

【経常利益】
持分法による投資損益が改善した一方、受取配当金の減少、為替差損の増加により、営業外収支はやや悪化した。営業利益の増加により増益。

【当期純利益】
特別損失として、子会社において厚生年金基金脱退損失を計上。また、税制改正に伴う繰延税金資産の取り崩しにより法人税等調整額が増加したことなどにより、当期純利益は減益。

資産・負債及び純資産の状況				
(単位:億円)	2011年3月末		2011年12月末	
	2011年3月末	2011年12月末	増減	増減率
総資産	3,887	3,945	58	1.5%
グロス有利子負債	1,736	1,646	△ 90	-5.2%
ネット有利子負債	1,046	954	△ 92	-8.8%
株主資本	637	699	62	9.7%
(内、利益剰余金)	89	151	62	69.1%
その他の包括利益累計額合計	△ 306	△ 339	△ 33	-
少数株主持分	165	166	2	1.0%
純資産合計	496	526	30	6.1%
自己資本(注1)	331	360	29	8.7%
自己資本比率(注2)	8.5%	9.1%	0.6pt改善	-
ネットDER(注3)	3.2倍	2.7倍	0.5pt改善	-

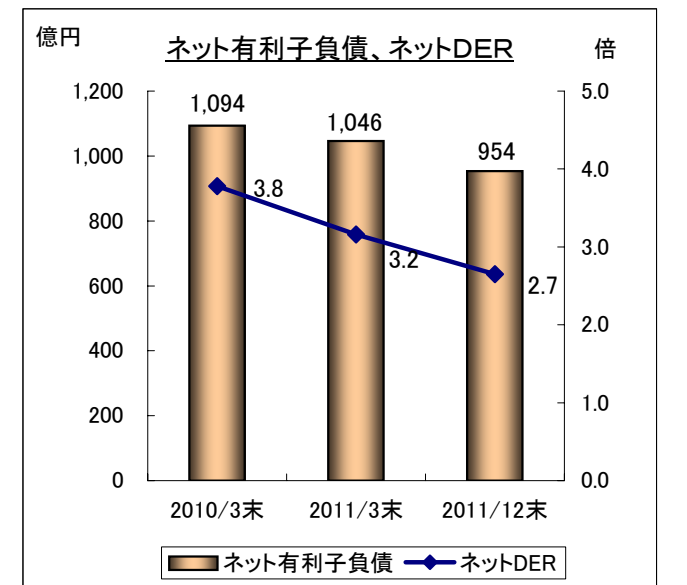
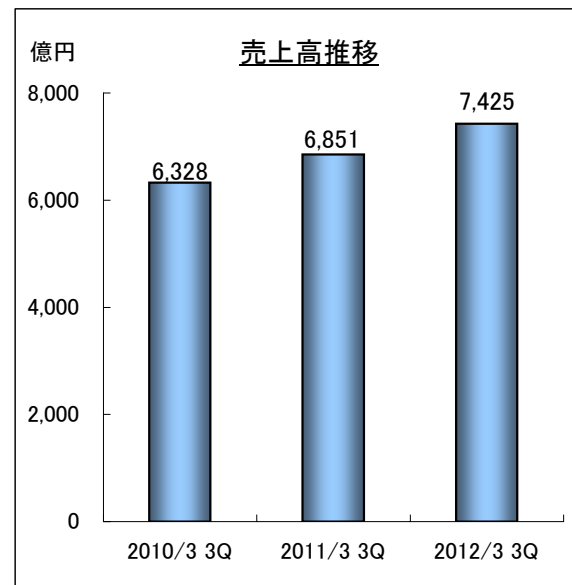
【総資産】
58億円増加し、3,945億円。

【有利子負債】
借入金の返済を進めたことにより、グロス有利子負債は90億円減少。ネット有利子負債も92億円減少。

【純資産】
円高の影響で為替換算調整勘定が悪化し、その他の包括利益累計額のマイナスが拡大したが、当期純利益の計上に伴う利益剰余金の積み上げにより、純資産は30億円増加。純資産から少数株主持分を除いた自己資本は、29億円増加。

その結果、自己資本比率は9.1%、ネットDERは2.7倍に改善。

(注1)自己資本=純資産-少数株主持分 (注2)自己資本比率=自己資本/総資産 (注3)ネットDER=ネット有利子負債/自己資本



セグメント情報						
(単位:億円)	売上高(外部売上高)			営業利益		
	2011/3期 第3四半期 累計実績	2012/3期 第3四半期 累計実績	前年同期比 増減	2011/3期 第3四半期 累計実績	2012/3期 第3四半期 累計実績	前年同期比 増減
電子・IT	1,839	1,835	△ 5	67	68	1
食品・食糧	2,072	2,215	143	17	42	25
鉄鋼	729	754	25	26	27	1
機械・プラント	463	526	63	5	7	2
環境・素材	1,617	1,960	344	6	15	10
報告セグメント合計	6,720	7,290	569	120	159	39
その他(含む調整額)	131	135	4	2	3	1
総合計	6,851	7,425	573	122	162	39

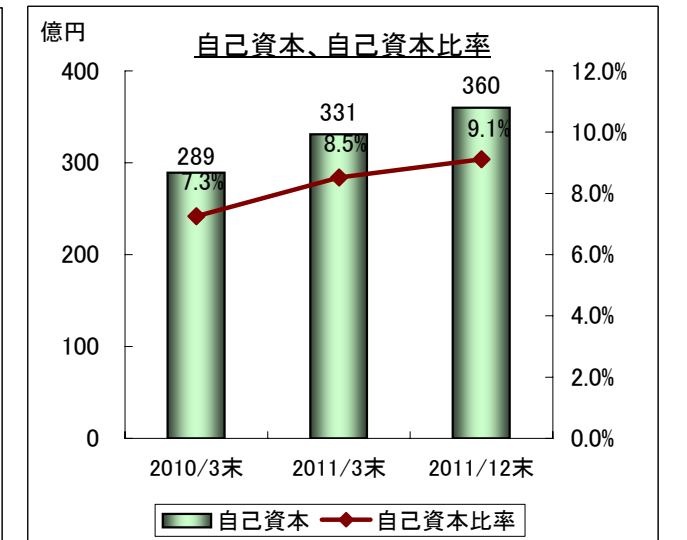
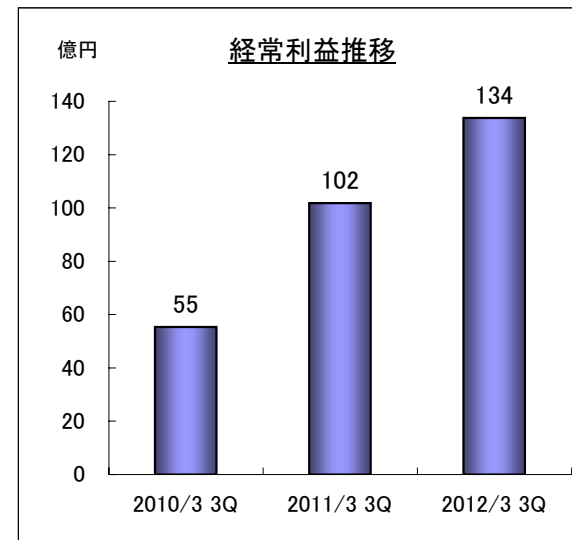
【電子・IT】: 減収増益
ICT・モバイルソリューション事業は、スマートフォン等の市場拡大を受け、好調に推移。一方、半導体部品はタイでの洪水被害の影響、半導体装置は昨年度からの反動による需要の落ち込みを受け、半導体事業全体として低調に推移。

【食品・食糧】: 増収増益
震災及び原発事故の影響もあり、輸入畜産物の販売は底堅く推移。食品事業は、調理食品・加工品等を中心に好調に推移。食糧事業は、飼料販売取引先との関係強化および販路拡大への取り組みが奏功し、収益に貢献。

【鉄鋼】: 増収増益
特殊鋼及びステンレスを中心とした欧米向け輸出取引が堅調に推移、全体の収益を押し上げる主因となる。

【機械・プラント】: 増収増益
自動車関連取引は、第2四半期中よりサプライチェーンが回復。プラント関連取引はODA関連の受注が増加。工作機械取引は需要回復により堅調に推移。

【環境・素材】: 増収増益
機能性化学品事業は車載用電池原料の輸出が伸長。潤滑油、樹脂原料など全般的に堅調に推移。エネルギー事業は、震災後の電力会社向け重油販売増加を追い風に、堅調に推移。



* 本資料に記載されている業績予想ならびに将来に関する記述は、当社が発表日現在入手可能な情報および合理的な仮定に基づいた推測を前提としたものであり、実際の業績は様々な要因により本資料に記載されたものと大きく異なる可能性があることに留意ください。
* 表示の数値は億円未満を四捨五入しておりますので、個別数値と合計数値・増減額が一致しない場合があります。